

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	ミックスペーパーモデル事業委託業務	4-1
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	2
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	市民生活部ごみ対策課	直通電話	72-3126
担当部長	川又 和雄	担当課長	藤岡 修一
		担当者	吉田 恵

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	燃やせるごみに含まれるミックスペーパー(古新聞・古雑誌以外の雑紙類)の再資源化モデル事業		
(2)事業開始年度	平成17年度	(3)事業終了年度	平成20年度
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	4 豊かな自然を守り育てる	
	施策項目(大)	(3)資源循環型社会の実現	
	施策項目(小)	ごみの発生抑制と排出抑制のしくみづくり	
	施策コード	40301	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	ごみの減量化と資源の有効利用を図る。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	ごみの減量化と、新たな紙ごみのリサイクルルートの確立の研究
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	ミックスペーパーモデル事業の登録世帯から専用袋で回収拠点に持込まれるミックスペーパーをリサイクルする。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	古紙(古新聞、古雑誌、段ボール)の集団資源回収
(6)事業の立案や実施における協働の視点	市民有志で構成する、いしかり・ごみへらし隊の発案による事業

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	591	581	1,031	1,176
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	2,590	2,486	2,691	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	3,181	3,067	3,722	
事務に従事した正職員延べ人数	0.30	0.30	0.30	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)										
区分	H17	H18	H19	H20予算	区分	H17	H18	H19	H20予算	
市補助金等(A)										
計(B)	0	0	0	0						
(A/B)					計	0	0	0	0	0

5 事業活動の結果 (単位:件・トン・円)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
モデル登録件数(件)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	598	1,381	1,707	
	達成率	-	-	-	
ミックスペーパー回収量(トン)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	6.78	19.46	33.74	
	達成率	-	-	-	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
家庭ごみ排出量(トン)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	16,096	15,547	10,071	
	達成率	-	-	-	
ミックスペーパー回収量(トン)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	6.78	19.46	33.74	
	達成率	-	-	-	
家庭系ごみ資源化率(%) (ミックスペーパー量/ゴミ処理量+リサイクル資源総量)	目標値	未設定	未設定	未設定	未設定
	実績値	0.03	0.10	0.21	
	達成率	-	-	-	

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。		
(1) 必要性		(4) 有効性		
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	2	ア 施策との関連	
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか			1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない	
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	2	事業の成果と施策の成果とに関連があるか	
その事業に市が関与する必要があるかどうか			イ 成果	
(2) 効率性			1 すべて達成している 2 一部達成している 3 達成していない	
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	2	ウ 事業内容	
コスト削減は可能か			1 極めて妥当 2 一定の妥当性あり 3 妥当性が低い	
(3) 公平性			(1)~(4)の評価ポイント合計	
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	3	総合評価の参考にしてください。	
さらなる受益者負担は可能か			7~11	A or B
			12~15	B or C
			16~21	D or E
			<b>14</b>	

8 課長評価		担当課長が評価します。		
(1) 平成19年度事業の総合評価		B		
評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		集団資源回収にも出せず、燃えるごみとして処分していた雑紙類を、市内公共施設で拠点回収し、再資源化する事業であり、年々回収量が増えているが、費用対効果から判断した場合課題がある。		
(2) 今後の方向性・課題	古紙回収業者による雑紙類を含め集団資源回収が可能か否か調査検討中。			
(3) 平成21年度の方向性	* :担当課長			
事業規模	拡大方向	現状維持	一部見直し	雑紙類を含め集団資源回収に移行する方向で検討中する。
	現状維持			
	縮小方向		*	
	統合			
	休・廃止			

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。		
(1) 平成19年度事業の総合評価		B		
評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		モデル事業として一定の成果が上がった。		
(2) 今後の方向性・課題	モデル事業から通常事業への切り替えを予定しており着実な実施が望まれる。			
(3) 平成21年度の方向性	:担当部長(もしくは市長)			
事業規模	拡大方向	現状維持	一部見直し	専用紙袋から市販の紙袋での回収形態に変更する
	現状維持			
	縮小方向			
	統合			
	休・廃止			